

芝生グラウンドの適切な管理を

島田 信吉



川本グラウンド・ゴルフ場

年度は4月から快適な利用ができるよう管理していきます。

使用料格差の見直しを

問 市内7カ所の市営グラウンドは、教育委員会が管理運営を行い、また、仙元山公園内の各競技場や多目的広場などは、公園施設として都市整備部の所管である。仙元山公園の多目的広場と市営グラウンドである、川本グラウンド・ゴルフ場等は、ともに芝生であり、芝の状況に応じて適切な管理が必要であるが、管理等の状況と、今後の川本グラウンド・ゴルフ場の管理の方向を聞きたい。

答 仙元山の多目的広場は、深谷市施設管理公社に委託し、深谷市職員が、冬芝の管理や部分的なものを含めて昨年度は38回の刈り払いを行いました。川本グラウンド・ゴルフ場の芝面には、目土入れや施肥のほか年6回の刈り込みを業者に委託しています。また、来

問 仙元山グラウンドの多目的広場は無料であり、川本グラウンド・ゴルフ場は有料であるなど格差があり、早急な解消が必要である。また、川本グラウンド・ゴルフ場の使用料の免除規定の適用にも不合理があると考えられる。高齢者スポーツの奨励等の観点からも無料化を含め早急に見直すべきではないか。

答 今年度から使用料の適正な再設定と、類似する施設等の格差解消に向けて検討し、21年度から本格実施の計画があります。川本グラウンド・ゴルフ場の使用料は、旧川本町の条例を引き継いでいるものですがこの対象となります。

市独自介護保険利用料補助拡大を

清水 睦

問 介護保険料第3段階の利用料の補助率を4分の1から2分の1に引き上げられないか。

答 3段階の方への補助は、今年4月から開始したところで、近隣の市と比較しても高い状況であり、見直す予定はございません。

子どものインフルエンザ予防接種に補助制度の創設を

問 国の動向及び財政状況を考慮し、慎重に検討したいと考えております。

国民健康保険被保険者証の適切な更新を

問 平成12年4月より法が変わり、旧深谷市でも平成15年に短期保険証を、16年には10割全額本人が支払う資格証明書が発行された。さらに、保

険証の留め置きも存在する。国保は中小業者や農家を含め、安定した収入を確保することが困難な方々が数多く加入している。加入者全員に少しでも速やかに被保険者証を交付することはできないのか。



ごみの有価物のリユースについて

問 市独自で、ごみの有価物のリユースを行い、中古品を市民に供給することにより、環境対策に役立てないか。

答 現在の収集体制では、難しいところですが、先進地の例などを研究してまいります。

介護相談員派遣事業再導入へのお考えは？

中矢 寿子

問 介護サービスの質の向上を図るためスタートした介護相談員派遣事業は、誰もが安心して暮らせる地域づくりの礎になると思われる。旧深谷市で2年間導入していた介護相談員派遣事業を、新深谷市としては再導入する考えがあるか、聞きたい。

答 平成15年から17年の2年間に、介護相談員派遣事業を導入したことはありました。その後介護保険法改正により、平成19年春に開設された地域包括支援センターで、高齢者を総合的に支えることとなったため、市単独事業として介護相談員サービスを実施する考えはありません。

環境対策について問う

問 年々強まる地球温暖化。深谷市としての地球温暖化防

止対策、具体的な目標と取り組みについて聞きたい。

答 平成19年度中に策定される環境基本計画を受け、深谷市地球温暖化防止実行計画が、平成20年に策定される予定です。



深谷市本田一級河川の魚道整備を望む

永田 勝彦

問 吉野川には多くの魚が生息していたが落合橋の下に落差施設があるため上流への魚の遡上がない。早期に整備を。県に対し働きかけます。

吉野川万年橋の橋脚改良

問 万年橋は熊谷方面からの左折が困難、即刻改善を。

答 橋梁改良は難しい。道路改良の必要がある。県・地元と話し合いを進めたい。

深谷市瀬山信号機の改善

問 交通量の増大により高齢



瀬山正福寺北信号機

生活の中で一番身近なごみ問題、今後の方向性は？

江原久美子

問 うずたかく積まれた土砂により近隣住民は大迷惑、子ども遊び場になり危険。農地法に抵触、早期復元を。

答 必要な手続を踏まえ適正な利用を指導いたします。

深谷市後榛沢「榛の森公園」北、土砂の撤去を求む

問 合併後、それぞれの収集体系（収集回数、品目等）を本年から統一し、新たにスタートしているが、各地域の状況に差が出ている現状がある。市では自治会の一つの役割として、環境美化推進員を設けているが、各推進員の情報の共有化を進めることにより、排出抑制や分別の徹底がより図れるのではないかと。

答 現在自治会により行っているものであり、意見等については、自治会を通じて、または直接担当課へお願いいたします。

現在、一般廃棄物は大里広域市町村圏組合で処理されている。したがって、深谷市内だけでなく、構成市町である熊谷市、寄居町、及び大里広域組合との連携が重要である。連携状況は？

答 深谷市においてはPR方法などを検討し、モラルの向上や分別の徹底を図っていきます。ペットボトル等については、各市町の差を縮めるとともに、基本に立ち返って市の独自性をもった効率的なものにすべく検討していきます。

